

## 【学校関係者評価書】（令和7年度）

園 名	鶴舞やまとこども園
評価者名 (学校評議員名)	階戸幸一様、廣瀬さやか様、塩見みどり様
学校関係者評価実施日	

大項目	中項目	目標達成状況及び 取組状況について	園の取組の 適切さについて	教育活動、学校経営の 改善方策について
Ⅰ 教育活動に関するもの	教育目標・教育計画 教育内容・保育指導 園行事 人権教育 生徒指導 特別支援教育	奈良市の公立園からの教育ビジョンを引き継ぎ、昨年度、一昨年度からのテーマにさらに副題「やってみたい、試してみたい！LET'S TRY！～やりたい、知りたい、と思える環境構成と援助を考える～」を示し、子どもの主体性を重視し、探究心を育む取り組みを行う。  月2回「Funday！」として異年齢児交流を行う。	時代に合わせた教育・保育ができるよう奈良教育大学廣瀬教授、保育アドバイザーである水野先生、昨年度より引き続き奈良県子ども保育課の就学前教育・保育支援アドバイザーにより園内研修を行っていた。  教育・保育内容の検証、環境構成を考察し、取り組み方法や見直しを行うなど、子どもたちにより良い環境提供ができるように努めた。	ネイティブな英語講師を2名配置し、保育補助として、日常生活に関わり、子どもたちが身近に楽しく英語に触れることができる取り組みに努めた。  「英語で遊ぼう」は4歳児5歳児は通年、3歳児は9月より導入し国際バカロレア（IB）教育につながる取り組みを策定している。  支援が必要な子ども達に対しても関係機関と連携を取りながら保育を進めている。  乳児クラスでの音声館による「わらべうたあそび」を見学した際は、乳児期における丁寧な関わりが幼児期につながるよう努めていた。
Ⅱ 園経営に関するもの	組織運営 研究・研修 安全管理 保健管理 地域との連携 施設・設備 情報管理	名札の廃止やプールでの着替え場所確保のため、玄関ホールにカーテン、ロールスクリーンを設置し子どものプライバシー保護に努めた。  園庭での運動会開催は、500名近くの多人数参加であったにも関わらず、保護者会の協力もあり事故など混乱も無く実施出来ていた。	国際バカロレア（IB）教育導入に伴い、行事や教育・保育内容、業務について見直しを行い職員間で話し合いを重ねていた。  小学校との交流、近隣店舗など地域訪問による体験学習など地域の方と関わり、地域連携を深めていた。	ペーパーレス化を進め、携帯アプリにて随時、保護者による申請及び確認、購入ができるよう効率化を進めていた。  1号認定児から2号認定児への移行希望増加のため、令和8年4月より定員総数は変えず、配分を変更することにより保護者のニーズに努めようとしている。

### その他の園に関する意見

- ・登園時間帯の駐車場混雑の懸念。
- ・隣接地の大規模工事に伴い、工事工程や大型車両の通行や日照権の懸念。
- ・認可園移行については奈良市から案内があったとのことであるが、【園名称に「公私連携」を入れること】を移管の諸条件としていた奈良市が、当案内に至った経緯を確認したい。
- ・「公私連携」から「認可園」へ移行する際に、園名に「公私」の文言を残せないのか。
- ・「施設・事業区分変更手続きに係るアンケート」結果が集計中の段階であったため、結果を整え早急に確認させてほしい。
- ・開園当初、公立園から「公私連携」として民間に移管した経緯から、保護者や地域の意見も踏まえて認可申請を進めてほしい。
- ・認可園移行後も奈良市との20年の協定期間は変わらないとのことであるが、必要に応じての三者協議会開催や運営状況確認など、奈良市による関与は継続されるのか。